

取組名		10年後に目指したい将来像	振り返りの総括
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり	子どもから高齢者、障害※のある方、外国人等すべての市民が学ぶ楽しさを享受し、学習成果を地域や社会で活かす機会が創出されています。高齢者は、今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきと生涯現役で生きがいある生活を過ごしています。また、市民一人ひとりが自分に適したスポーツや運動を日常的に行い、心身共に健康に暮らしています。スポーツがもつ多面的な可能性を活かして、夢と元気があふれるまちになっています。	・生涯学習分野においては、さんだ生涯学習カレッジはコロナ禍後、定員を超える受講希望者があり、講座及びクラブ活動で高齢者の学び・仲間づくりに取り組むとともに、スマート図書館サービスや市民センター等での予約本受渡しサービスを導入し、図書館サービスの充実を図るとともに、その他生涯学習施設におけるソフトプログラムの充実など多様な学習機会の提供に取り組んだ。また、有馬富士自然学習センターではジュニアスタッフの育成を行い、学びと活動の循環を促進している。 スポーツ分野においても、ノルディックウォーキング、ニュースポーツを中心に、年齢や障害の有無に関わらず誰もが気軽に楽しめるスポーツ機会の提供や、子どもたちへのプロスポーツ選手との交流やプロ試合観戦への招待などに取り組んだ。 一方、成果指標は、増加傾向にあるものの目標には到達できていない状況であることから、後期計画では生涯学習分野においては、高齢者をはじめ様々な地域人材の育成・支援に取り組み、学びと活動の循環を促進する必要がある。また、スポーツ分野においては、スポーツ機会の充実及び情報発信の強化を図るとともに、昨今の気候変動に対応した安全・安心な環境整備が必要である。 ・学校部活動の地域展開については、令和8年度中にすべての学校部活動を終了し、活動の主体を地域クラブ活動に移すことを方針として取組を進めており、令和8年4月末現在で27種目51の地域クラブが市に登録し活動を開始することができた。今後は、こどもたちが生涯にわたって多様なスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができるよう、持続可能な活動環境を継続的・安定的に確保する必要がある。 ・公園施設長寿命化計画等に基づき、維持管理費の平準化や長寿命化によるライフサイクルコストの削減を図りながら、老朽化が進む体育館や野球場、テニスコートなどスポーツ施設の修繕を計画的に実施し、市民が安全・安心に利用できるよう施設機能の適正維持に努めた。 後期計画では、引き続き計画的な施設機能維持に努めるとともに、大規模改修が必要となる施設については、次期公園施設長寿命化計画への位置付けを検討するなど財源確保も図りつつ、安全・安心なスポーツ環境を提供する。

市民意識調査の結果		指標等の進捗状況							
重要度	3.88	指標名		基準値 (R2)	方向性	R4	R5	R6	目標R8
重要度 平均からの 偏差	-0.10	1	当該年度に図書館に来館した 延べ人数	625,777人 (R元)	↑	508,721人	528,778人	545,963人	700,000人
重要度順位	18/25位	2	市民が参加できるスポーツイベ ント件数	152件 (R元)	↑	167件	168件	171件	180件
満足度	3.15	3	週1回以上運動・スポーツをして いる人の割合	43.9%	↑	46.4%	44.3%	46.3%	50.0%
満足度 平均からの 偏差	0.07								
満足度順位	6/25位								

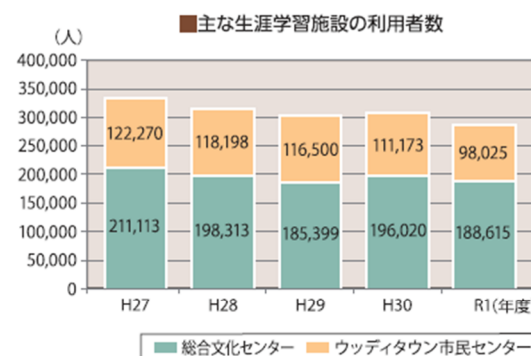
「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～

8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり

1. 10年後に目指したい将来像

子どもから高齢者、障害※のある方、外国人等すべての市民が学ぶ楽しさを享受し、学習成果を地域や社会で活かす機会が創出されています。高齢者は、今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきと生涯現役で生きがいある生活を過ごせています。また、市民一人ひとりが自分に適したスポーツや運動を日常的に行い、心身共に健康に暮らしています。スポーツがもつ多面的な可能性を活かして、夢と元気があふれるまちになっています。

2. 10年後に心配される三田の状況	3. 10年後に目指したい三田の状況	取り組み
A 生涯学習施設※の老朽化が進み、市民の学びを支える機能が失われていること	生涯学習施設が適切に管理、運営され、市民の感性を刺激し、学習意欲を高める施設となっていること	①
B ライフステージに応じた学びやその成果をいかす機会がなく、市民の活力がそがれていること。また市民の学びの成果がまちづくりにいかされていないこと	ライフステージに応じた学びの機会が自己の成長や仲間づくりにつながっていること。また、学びの成果がまちづくりにいかされ、活力のあふれたまちになっていること	②
C 仕事や趣味、生きがいをもつ高齢者が減少し、地域の活力の衰退が懸念されること	高齢者が今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきとしながら、就労や地域活動を行い、生きがいのある生活を送れていること	③
D スポーツ施設が老朽化し、競技に支障をきたすなど需要が満たないこと。運動意欲を喚起できず利用者が減少し、スポーツ実施者も減少していること	スポーツ施設が整い、プロスポーツや全国レベルの大会も開かれ、スポーツの意欲が喚起され競技レベルも向上し、またスポーツ実施者も増えていること	④
E 国際的なスポーツイベントが開催されたにもかかわらず、市民のスポーツ・運動への機運が低迷し、まちの活気が失われていること	多くの市民がスポーツを通じて交流することで活気があふれ、親しみやすいまちになり、それがまちの魅力となって発信されていること	⑤
F スポーツ習慣のない高齢者や障害者が増えることで、要介護者の増加や孤立、関係の希薄化が進んでいること	共生社会実現への取り組みが進み、誰もが日頃からスポーツに親しみ、人と交流できる環境が整い健康寿命※の向上につながっていること	⑥



※障害「障害」の漢字表記については12ページ参照

※生涯学習施設

市民の学習機会の提供や学習活動を支援する施設をいう。図書館、三田ふるさと学習館、有馬富士自然学習センター、市民センター等がある。

※健康寿命 46ページ参照

※シルバー人材センター

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、知事の指定を受けた公益法人をいう。地域の高齢者が自分の体力・技能・希望に合った仕事をしていく中で、生きがいづくり、健康維持、社会参加を促進するとともに地域社会の活性化を目指している。

※ノルディック・ウォーキング 44ページ参照

※さんだ里山スマートシティ構想 32ページ参照

「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～

【8】いつまでも学び、活躍できるまちづくり

1 10年後に目指したい将来像

こどもから高齢者、障害のある方、外国人等すべての市民が学ぶ楽しさを享受し、自己実現を図り、学習成果を地域や社会で活かす機会が創出されています。高齢者は、今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきと生涯現役で生きがいある生活を過ごすとともに、地域や社会でも活躍しています。また、市民一人ひとりが自分に適したスポーツや運動を日常的に行い、心身共に健康に暮らしています。スポーツがもつ多面的な可能性を活かして、夢と元気があふれるまちになっています。

2 10年後に心配される三田の状況	3 10年後に目指したい三田の状況	取り組み	指標
A 生涯学習施設の老朽化や社会情勢との乖離が進み、市民の学びを支える機能が失われていること	生涯学習施設が実情に応じて適切に管理、運営され、創作や学習意欲を高める施設となっていること	①	a
B ライフステージに応じた学びやその成果をいかす機会がなく、市民の活力がそがれていること。また、市民の学びの成果がまちづくりにいかされていないこと	ライフステージに応じた学びの機会が自己の成長や仲間づくりにつながっていること。また、学びの成果がまちづくりにいかされ、活力のあふれたまちになっていること	②	d
C 仕事や趣味、生きがいをもつ高齢者が減少し、地域の活力の衰退が懸念されること	高齢者が今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきとしながら、就労や地域活動を行い、生きがいのある生活を送れていること	③	d
D スポーツ施設が老朽化し、競技に支障をきたすなど需要が満たせないこと。また、運動意欲を喚起できず利用者が減少し、スポーツ実施者も減少していること	スポーツ施設が整い、プロスポーツや全国レベルの大会も開かれ、スポーツの意欲が喚起され競技レベルも向上し、またスポーツ実施者も増えていること	④	c
E 国際的なスポーツイベントが開催されたにもかかわらず、市民のスポーツ・運動への機運が低迷し、まちの活気が失われていること	多くの市民がスポーツを通じて交流することで活気があふれ、親しみやすいまちになり、それがまちの魅力となって発信されていること	⑤	b・c
F スポーツ習慣のない高齢者や障害者が増えることで、要介護者の増加や孤立、関係の希薄化が進んでいること、また年少人口の減少により、チームでの活動を中心に、こどもたちの体験・活動機会に支障が生じていること	共生社会実現への取り組みが進み、誰もが日頃からスポーツに親しみ、人と交流できる環境が整い健康寿命の向上につながっていること、またこどもたちが、地域の中で多様なスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができていること	⑥	b

4. 取り組み

市民

- ◆市民センター等を活用しながら主体的に学び、創造する意欲をもって学習や創作活動に取り組みます。
- ◆学びの成果を地域活動やボランティア活動に生かし、地域の活性化等の社会貢献につなげます。
- ◆スポーツ・運動の必要性や有用性の理解を深めます。
- ◆スポーツクラブマネジメントや指導に必要な知識・技能を身に付け、スポーツをささえます。
- ◆スポーツするのが好きな人は積極的にスポーツし、苦手意識のある人は意識的に運動に取り組みます。

事業者・団体等

- ◆市民の学びや創作・表現活動に資する人材やプログラム、場、情報の提供に努めます。
- ◆従業員が地域活動を担う一員として学習に取り組むことができるよう支援します。
- ◆行政等と連携し積極的に地域のスポーツに関わります。
- ◆地域社会の一員として企業のノウハウを活かした事業活動を通じ、スポーツ・運動の日常化を支えます。
- ◆教室や競技大会により指導者・選手を育成します。

市

①多様な学習機会の創出～学びの場の提供～

生涯学習の拠点機能をもつ図書館をはじめ、各生涯学習施設の特色を活かし、市民ニーズや地域課題の変化に応じた多様な学習機会を提供します。「人づくり、地域づくり、まちづくり」の拠点施設として市民センターの活性化を図ります。

②多世代に学びの機会を提供～学びの自己実現から社会貢献へ～

生涯を通じての学びは、行政だけでなく高等教育機関との連携によるリカレント教育の拡充等により、子どもから学生、シニアまでの多世代に学びの機会や交流の場を提供します。地域人材や教育機関、企業等との連携により市民の活躍の場を創出し、市民力を生かせる仕組みづくりを進めます。

③シニアの新たな楽しみの発見！～シニアの活躍支援～

シニアが生涯学習を通じて仲間づくりや地域貢献につながるような機会を提供します。新たな楽しみの発見、生きがいや社会参加につなげるためにいきがい応援プラザ等のセミナーで「先生デビュー」を支援します。シルバー人材センター※やハローワークとの連携を推進し、情報提供やセミナーによる就労支援を行います。

④スポーツで未来(あした)が変わる！～子どもに夢を！～

スポーツ・運動を「する」「みる」「ささえる」機会を提供します。城山公園や駒ヶ谷運動公園のスポーツ施設の再整備を進め、プロのスポーツ大会等を誘致しスポーツ観戦の機会提供やスポーツ「夢」プロジェクトを強化し子どもたちと選手との交流を進めます。スポーツ・運動をささえる指導者やボランティアの育成を支援します。

⑤スポーツで貴方(あなた)が変わる！～生涯スポーツの推進～

スポーツ・運動に関する情報を市広報・SNS等で継続的に提供し、興味や関心をもった人が生涯にわたって実践できるよう働きかけます。ノルディック・ウォーキング※等でスポーツ・運動習慣の定着を推進し、さんだ里山スマートシティ構想※と運動して三田の魅力を活かして健康でいきいきとしたまちづくりに取り組みます。

⑥学びやスポーツを通じた共生のまちづくり～多様性と調和・未来への継承～

年齢や障害の有無等に関わらず誰もが参加できる学びやスポーツ活動を通じ共生まちづくりを進めます。障害者のスポーツの普及や様々な機会を通じた交流を進めるとともに、健常者の理解を深め、認知度を向上させます。高齢者や外国人も参加しやすい講座等を行い、学びやスポーツに親しむ機会を提供し、バリアフリーの施設整備にも取り組みます。

5. 成果指標等

指標名	基準値	基準年	目標値(R8)
当該年度に図書館に来館した延べ人数	625,777人	(R元)	700,000人
市民が参加できるスポーツイベント件数	152件	(R元)	180件
週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	43.9%	(R2)	50.0%

4 取り組み

市民

- ◆市民センター等を活用しながら主体的に学び、創造する意欲をもって学習や創作活動に取り組みます。
- ◆学びの成果を地域活動やボランティア活動に生かし、地域の活性化等の社会貢献につなげます。
- ◆スポーツ・運動の必要性や有用性の理解を深めます。
- ◆スポーツクラブマネジメントや指導に必要な知識・技能を身に付け、スポーツをささえます。
- ◆スポーツするのが好きな人は積極的にスポーツし、苦手意識のある人は意識的に運動に取り組みます。

事業者・団体等

- ◆市民の学びや創作・表現活動に資する人材やプログラム、場、情報の提供に努めます。
- ◆従業員が地域活動を担う一員として学習に取り組むことができるよう支援します。
- ◆行政等と連携し積極的に地域のスポーツに関わります。
- ◆地域社会の一員として企業のノウハウを活かした事業活動を通じ、スポーツ・運動の日常化を支えます。
- ◆教室や競技大会の開催により指導者・選手を育成します。
- ◆スポーツや文化芸術活動により自己実現を図ろうとするこども・若者を支援します。

市

①多様な学びの場を提供

生涯学習の拠点機能をもつ図書館をはじめ、各生涯学習施設の特色を活かし、市民ニーズや地域課題の変化に応じた多様な学習機会を提供します。地域やテーマに沿った拠点施設として実情に応じた管理運営が適切に行われ、市民が主体的に創作活動等ができる学びの場を提供します。

②多世代の学びと活動の循環を創出

★人口減少対策★

生涯を通じての学びに向けて、行政だけでなく高等教育機関との連携によるリカレント教育の拡充等により、こどもから学生、シニアまでの多世代に学びの機会や交流の場を提供します。学び合いを通じて、地域人材の育成に取り組み、地域人材や教育機関、企業等との連携により市民の活躍の場を創出し、市民力を生かせる仕組みづくりを進め、学びと活動の循環を促進します。

③シニアの活躍支援

シニアが生涯学習を通じて仲間づくりや地域貢献につながるような機会を提供します。新たな楽しみの発見、生きがいや社会参加につなげるためにいきがい応援プラザ等のセミナーでの「先生デビュー」支援や人材バンクのマッチングにより活躍の場を広げます。シルバー人材センターやハローワーク、民間事業者等との連携を推進し、相談窓口や情報誌等による情報提供やセミナーを通じて就労を支援します。

④スポーツを『する』『みる』『ささえる』機会を提供

城山公園や駒ヶ谷運動公園などのスポーツ施設の再整備や適正な維持管理に努め、安全・安心かつ快適なスポーツ環境を提供します。プロスポーツ団体やスポーツ関連企業、大学との連携を進め、スポーツ観戦の機会提供やスポーツ「夢」プロジェクトを強化し子どもたちと選手との交流など、スポーツへの関心を高める取り組みを進めます。スポーツ・運動をささえる指導者やボランティアの育成を支援します。

⑤生涯スポーツの推進

スポーツ・運動に関する情報を市広報・SNS等で継続的に提供し、興味や関心をもった人が生涯にわたって実践できるよう働きかけます。ニュースポーツなど誰もが気軽に楽しめるスポーツの機会を提供することでスポーツ・運動習慣の定着を推進し、健康寿命の延伸に繋がるとともに、健康でいきいきとしたまちづくりに取り組みます。

⑥学びやスポーツを通じた共生のまちづくり

年齢や障害の有無等に関わらず誰もが参加できる学びやスポーツ活動を通じ共生まちづくりを進めます。障害者のスポーツの普及や様々な機会を通じた交流を進めるとともに、健常者の理解を深め認知度を向上させます。高齢者や外国人も参加しやすい講座等を行い、学びやスポーツに親しむ機会を提供しバリアフリーの施設整備にも取り組みます。また、こどもたちが、生涯にわたって多様なスポーツ・文化芸術活動に継続して取り組むことができる環境を確保します。

◆評価指標

	指標名	現状値（基準年）	目標値（R13）
	KGI 施策重要度・満足度（市民意識調査）	重要度 3.88pt 満足度 3.15pt	↑
a	KPI 図書館に来館した延べ人数	545,963 人 (R6)	700,000 人
b	KPI ニュースポーツなど誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントへの参加者数	1,917 人 (R6)	2,600 人
c	KPI 週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	46.3% (R6)	50.0%
d	KPI いきがい応援プラザの相談・利用件数	626 件 (R6)	1,800 件

<<前期基本計画>>

■主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市生涯学習審議会条例、三田市立図書館条例、三田市スポーツ推進審議会条例
関連計画	三田市教育振興基本計画、三田市スポーツ推進基本計画、三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

<<後期基本計画(素案)>>

◆主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市生涯学習審議会条例、三田市立図書館条例、三田市スポーツ推進審議会条例
関連計画	三田市教育振興基本計画、三田市スポーツ推進基本計画、三田市高齢者保健福祉計画

【資料40-3】 指標一覧

【資料40-3】

最上位指標

市民の幸せ実感度の向上

	KGI（成果指標）	KPI（活動指標・取組指標）		現状値	目標値	指標の設定理由	所管課
8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり	（主観的指標） 施策重要度・施策満足度	-	新規	重要度 3.88pt 満足度 3.15pt	向上	全施策固定指標	
		図書館に来館した延べ人数	継続	545,963人（R6）	700,000人（R13）	生涯学習施設の特色を活かし、多様な学習機会を提供することで、誰もが学ぶ楽しさを享受し、またその学習成果を活かす機会を充実させ学びと活動の循環を促進するにあたり、生涯学習の拠点である図書館の来館者数を指標とすることで、その成果を測ることができるため。	文化スポーツ課
		ニュースポーツなど誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントへの参加者数	新規	1,917人（R6）	2,600人（R13）	前期計画では、『市民が参加できるスポーツイベント件数』を指標としていたが、ニュースポーツ等の身近なスポーツを通じて、スポーツ・運動習慣の定着を推進し、健康でいきいきとしたまちづくりを目指すにあたり、これらのイベントへの参加者数を指標とすることで、その成果を測ることができるため	文化スポーツ課
		週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	継続	46.3%（R6）	50.0%（R13）	スポーツ・運動習慣の定着を測る指標とし、国・県のスポーツ推進計画においてもこの指標を設定しており、国、県の動向との比較検証もできる指標であるため。	文化スポーツ課
		いきがい応援プラザの相談・利用件数	新規	626件（R6）	1,800件（R13）	高齢者が今まで培ってきた知識や技能を活かし、趣味、ボランティア、就労、地域活動等の社会参加につなげ、健康でいきいきと生涯現役で生きがいのある生活を過ごしていただくにあたり、高齢者の相談窓口であるいきがい応援プラザの相談件数と講座や人材バンク等の利用件数を指標として設定する。	高齢者支援課